

1

第
だい

課
か

しょう
紹

かい
介

初めて人に会う

はじ



-
- I A: キャロル・ベーカーと申します。……………>会話 1
B: ベーカーさんですか。どうぞよろしく。
- II A: こちらは、僕の友達のトム・ブラウン君。……………>会話 2
B: 加藤です。どうぞよろしく。
C: はじめまして。トム・ブラウンです。

Meeting Someone in Japan

➤➤➤➤

When you meet someone in Japan for the first time, you bow as you say either *はじめまして* or *どうぞよろしく*, or both. You also exchange *名刺* (cards) if you have them. In Japan, everyone other than children, students or full-time housewives is expected to carry them. Sometimes even university students choose to carry them for prestige.

How low you should bow depends on who you are as well as whom you meet. In general, women tend to bow lower than men, and if you meet a person whose status is higher than yours on the Japanese social scale, you should bow lower than the other person, e.g., your teacher, a friend's parent, etc.

Introducing Oneself or Others

➤➤➤➤

Self-introductions occur quite frequently in Japan. At a reception for new students, for example, you may be asked to introduce yourself in Japanese. State your name, the name of your home institution, your major, and end it all with *どうぞよろしく* and a bow.

When you introduce two people to each other, the rule of thumb is to introduce the person of lower status to the person of higher status. It would be nice to also add a comment or two about each person, as Ikeda does in *会話 2* of this lesson.

How to Address Someone

➤➤➤➤

The most common way to address an adult is "last name plus *さん*," but don't overuse *さん*! To address people who have titles such as *課長* (section chief), *部長* (department chief), *社長* (company president), etc., use the titles instead of *さん*. To address teachers, always use *先生*. Above all, avoid using *あなた*. It could be quite insulting. The use of first names is limited in Japan: they are used within a family, by higher-status members addressing lower-status members (e.g., parents addressing children, or older siblings talking to younger siblings), or they are sometimes used among close friends.

復習用の漢字

ふく しゅう よう かん じ

- | | | | | |
|----------|-----------|----------|----------|---------|
| 1. 一 | 2. 一つ | 3. 二 | 4. 二つ | 5. 三 |
| 6. 三つ | 7. 四 | 8. 四つ | 9. 五 | 10. 五つ |
| 11. 六 | 12. 六つ | 13. 七 | 14. 七つ | 15. 八 |
| 16. 八つ | 17. 九 | 18. 九つ | 19. 十 | 20. 百 |
| 21. 千 | 22. 万 | 23. 円 | 24. 日曜日 | 25. 月曜日 |
| 26. 火曜日 | 27. 水曜日 | 28. 木曜日 | 29. 金曜日 | 30. 土曜日 |
| 31. 四月 | 32. 九月 | 33. 大きい | 34. 小さい | 35. 古い |
| 36. 白い | 37. 早い | 38. 高い | 39. 安い | 40. 忙しい |
| 41. 今 | 42. つくえの上 | 43. へやの中 | 44. いすの下 | 45. 少し |
| 46. 好き | 47. 一年 | 48. 時間 | 49. 五分 | 50. あの人 |
| 51. 日本人 | 52. 日本語 | 53. 英語 | 54. 東京 | 55. 男 |
| 56. 女 | 57. 子 | 58. 父 | 59. お父さん | 60. 母 |
| 61. お母さん | 62. 高校 | 63. 大学 | 64. 勉強 | 65. 先生 |
| 66. 山田 | 67. 名前 | 68. 車 | 69. 会社 | 70. お金 |
| 71. 天気 | 72. 元気 | 73. 毎月 | 74. 毎年 | 75. 行く |
| 76. 来る | 77. 来年 | 78. 食べる | 79. 日本食 | 80. 飲む |
| 81. 見る | 82. 読む | 83. 書く | 84. 話す | 85. 聞く |
| 86. 思う | 87. 入る | 88. 入れる | 89. 出る | 90. 知る |
| 91. 言う | 92. 休む | 93. 使う | 94. 会う | 95. 買う |
| 96. 作る | 97. 持つ | 98. 待つ | 99. 習う | 100. 住む |
| 101. 何 | 102. 友だち | | | |

(読みかたは次のページにあります。)

1. いち	2. ひとつ	3. に	4. ふたつ	5. さん
6. みつつ	7. よん／し	8. よつつ	9. ご	10. いくつか
11. ろく	12. むつつ	13. なな／しち	14. ななつ	15. はち
16. やつつ	17. きゅう／く	18. ここのつ	19. じゅう／とお	20. ひゃく
21. せん	22. まん	23. えん	24. にちようび	25. げつようび
26. かようび	27. すいようび	28. もくようび	29. きんようび	30. どようび
31. しがつ	32. くがつ	33. おおきい	34. ちいさい	35. ふるい
36. しろい	37. はやい	38. たかい	39. やすい	40. いそがしい
41. いま	42. つくえのうえ	43. へやのなか	44. いすのした	45. すこし
46. すき	47. いちねん	48. じかん	49. ごふん	50. あのひと
51. にほんじん	52. にほんご	53. えいご	54. とうきょう	55. おとこ
56. おんな	57. こ	58. ちち	59. おとうさん	60. はは
61. おかあさん	62. こうこう	63. だいがく	64. べんきょう	65. せんせい
66. やまだ	67. なまえ	68. くるま	69. かいしゃ	70. おかね
71. てんき	72. げんき	73. まいつき	74. まいとし	75. いく
76. くる	77. らいねん	78. たべる	79. にほんしよく	80. のむ
81. みる	82. よむ	83. かく	84. はなす	85. きく
86. おもう	87. はいる	88. いれる	89. である	90. する
91. いう	92. やすむ	93. つかう	94. あう	95. かう
96. つくる	97. もつ	98. まつ	99. ならう	100. すむ
101. なに／なん	102. ともだち			

- 1 ● 高校で二年間日本語を勉強して大学に入ったばかりのキャロル・ベーカーが、日本人会のパーティーで日本語の石山先生に初めて会う。

キャロル： あのう、失礼ですが、石山先生でいらっしゃいますか。

石山： ええ、石山ですが。

- 5 キャロル： キャロル・ベーカーと申します。

石山： ベーカーさんですか。どうぞよろしく。

キャロル： よろしくお願ひします。先生、いつからここで教えていらっしゃるんですか。

石山： 十五年前からですよ。

キャロル： その時に日本からいらっしゃったんですか。

- 10 石山： ええ、そうです。

キャロル： 先生、日本はどちらからですか。

石山： 東京です。ベーカーさんは日本へ行ったことがありますか。

キャロル： いいえ、まだです。でも留学したいと思っています。

石山： 日本語の学生ですか。

- 15 キャロル： はい、日本語は高校で勉強したので、ここの二年のクラスに入れていただきました。

石山： そうですか。今年ことしの二年のクラスは三田先生ですね。

キャロル： はい、そうです。

石山： あのクラスは宿題が多いですよ。がんばってください。

- 20 キャロル： はい、がんばります。



1 ● 大学院生の池田が、友達トム・ブラウンをほかの大学院生に紹介する。

池田： 加藤さん、こちらは、僕の友達トム・ブラウン君。ブラウン君、こちら九月からこの大学院で電気工学を専攻している加藤まゆみさん。

加藤： 加藤です。どうぞよろしく。

5 トム： はじめまして。トム・ブラウンです。学部の二年生です。

池田： ブラウン君、君もテニスが好きだけど、加藤さんもテニスが趣味なんだよ。

加藤： でも上手じゃありませんよ。

トム： 今度一度やりましょうか。

加藤： ええ、ぜひお願いします。ところで、ブラウンさんはどうして日本語が話せるんですか。

トム： 一年高校留学してましたし、日本語が専攻ですから。

加藤： 上手ですねえ。

トム： いいえ、まだまだです。

加藤： 日本に興味を持ったのは、留学した時からですか。

15 トム： 実は、中学の時、隣に日本人の家族が住んでいて、そのたけし君っていう男の子といつも遊んでいたんですよ。

加藤： それで日本に興味を持つようになったんですか。

トム： そうなんです。日本語も少し教えてもらったし、日本のビデオもたくさん見せてもらったし。

20 池田： だからブラウン君は、日本文化についても知識豊富なんだ。

トム： 「ちしきほうふ」って何ですか。

池田： いろいろなことを知っているっていうこと。

トム： そうでもないけどなあ。

1 ● アメリカ人ベティー・ピーターソンが、日本へ行く飛行機で隣に座った日本人女性に話しかける。

ベティー： 日本へお帰りですか。

前田： ええ。

ベティー： ベティーです。どうぞよろしく。

5 前田： 前田あきです。どうぞよろしく。ベティーさんは大学生ですか。

ベティー： 先月卒業したばかりです。前田さんは？

前田： ニューヨークにある日本の会社に勤めているんですけど、二週間休暇を取って日本へ帰るところなんです。

ベティー： 日本はどちらですか。

10 前田： 京都です。生まれたのも育ったのも京都なんですよ。

ベティー： 私も京都へ行くんですよ。

前田： えっ、お仕事ですか。

ベティー： ええ、京都で英語を一年教えることになっています。

前田： そうですか。日本は初めてですか。

15 ベティー： 前に一年間留学しました。京都はその時一晩だけ泊まりましたけど、とても気に入りました。

前田： 私がいる間に、一度うちへ遊びにいらっしやいませんか。両親の所ですけどどうぞ。この名刺に両親の家の電話番号を書いておきますから。

ベティー： どうもありがとうございます。



1 ●八月二十六日(木)

今日の午後四時ごろ成田を出て、今日の午後四時ごろこの町に着いた。日本から十数時間かかったのに、日本とアメリカの間には日付変更線というものがあるので、同じ日の同じ時間になってしまった。

5 空港には、Friends of International Students というグループのメンバーのルーカスさんという人が、^{むか} 迎えに来てくれていた。アパートが見つかるまで、ルーカスさんの家に泊めてもらうことになった。ルーカスさんは、自分をファーストネームで呼んでもらいたいと言うけれども、三十も年上の人なので、どうも「トム」とは呼びにくい。⁸

●八月二十七日(金)

10 ゆうべは、時差ボケでよく眠れなかった。きょうは、ルーカスさんが車でアパートさがしに連れていってくれた。キャンパスの^{ちか} 近くには、安くていいアパートがなくて、結局、大学から歩いて二十分ぐらいの所に^{ばい てきと} 適当なのを見つけた。月曜日に引っ越すことにした。⁹

●八月二十八日(土)

15 今晩は、ルーカスさんの^{ちじん} 知人の家のパーティーに連れていってもらった。着いたらすぐ若い^{だせい} 男性が話しかけてきた。「ハリスと申します。学部^{がくぶ}の二年生で、専攻^{せんこう}は日本語です。どうぞよろしく」などと、とてもいねいな日本語で、ペラペラ自己紹介されて、びっくりしてしまった。去年日本語のクラスで自己紹介^{じこしょうかい}の仕方^{しかた}を習ったので、使ってみたかったのだそうだ。よさそうな人なので、そのうちまた会うことにして、電話番号^{でんわばんごう}をもらっておいた。それから、中年^{ちゅうねん}の女性と英語で話した。お互い^{たが}の家族^{かぞく}について話して
20 いたら、その人が“I have three beautiful daughters.”と言ったのでびっくりした。¹⁰
日本人は「私には美しい娘がいます」なんて、英語でもとても言えないと思う。日本語と英語は、文法だけでなく、¹² 考え方もずいぶん違^{ちが}うらしい。¹¹ アメリカに着いて初めて¹⁴
¹³ のカルチャーショックだった。

会話 >>>>> 1

- accent
- 1 紹介 (しょうかい) introduction
 - 初めて (はじめて) for the first time
 - 1 V たばかり (たばかり) have just done ~
[>>>文法ノート1]
 - 2 石山 (いしやま) [family name]
 - 3 失礼ですが (しつれいですが) Excuse me (, but ...)
 - ~でいらっしゃる (でいらっしゃる) [honorific form of です]
 - と 5 申す (もうす) [humble form of 言う]
 - 7 よろしくお願ひします (よろしくお願ひします) [more polite way of saying どうぞよろ

- しく、お願ひします literally means 'I request.'
- 7 教える (おしえる) to teach
- 8 ~年前から (まへねんから) since ~ years ago
- 13 留学する (りゅうがくする) to study abroad
- 17 三田 (みた) [family name]
- 19 宿題 (しゅくだい) homework
- ~が多い (が多い) there is/are a lot
- がんばる (がんばる) to do one's best; to try hard

会話 >>>>> 2

- 1 大学院生 (だいがくいんせい) graduate student
- 池田 (いけだ) [family name]
- 友達 (ともだち) friend
- 2 加藤 (かとう) [family name]
- 僕 (ぼく) I [It is the most neutral form for male speakers.]
- ~君 (くん) [a form attached to a name in addressing someone. It is used toward someone equal or lower in status.]
- 3 大学院 (だいがくいん) graduate school
- 電気工学 (でんきこうがく) electrical engineering
- (~を)専攻する (せんこうする) to major (in ~)
- まゆみ [female given name]

- 5 学部 (がくぶ) faculty
- college, undergraduate
- 6 君 (きみ) you [It is generally used by male speakers toward someone equal or lower in status.]
- 趣味 (しゅみ) hobby
- 7 (~が)上手(な) (じょうず(な)) good (at ~)
- 8 今度 (こんど) one of these days
- 一度 (いちど) once
- 9 せひ (せひ) by all means
- お願ひします (お願ひします) Please.
- ところで (ところで) by the way
- 13 まだまだです (まだまだです) (I am) not good yet.
- 14 興味 (きょうみ) interest

○に がある
が持つ

15 実 ^{じつ} は	actually; in fact
ちゅうがく 中学	junior high school
となり 隣	next door; next to
かぞく 家族	family
たけし	[male given name]

16 遊 ^{あそ} ぶ	to play
ぶんか 文化	culture
ちしき 知識	knowledge
ほうふ 豊富(な)	bountiful; plenty

会話 >>>>> 3

1 飛行機 ^{ひこうき}	airplane
(~に)座 ^{すわ} る	to sit (in/on ~)
じょせい 女性	woman
はな 話 ^わ しかける	to talk to
2 帰 ^{かえ} る	to go home
3 前田 ^{まえだ}	[family name]
5 あき	[female given name]
6 先月 ^{せんげつ}	last month
(~を)卒業 ^{とつぎょう} する	to graduate (from ~)
7 (～に)勤 ^{つと} める	to work (for ~); to be employed (at ~)
しゅうかん ～週間	～ week(s)
きゅうか 休暇	vacation
と 取 ^と る	to take
8 帰 ^{かえ} るところ(だ)	to be returning home

[>>>文法ノート5]

10 (～で)生 ^う まれる	to be born (in/at ~)
	[v.i.]
(～で)育 ^{そだ} つ	to grow up (in ~) [v.i.]
13 ～こと ^{こと} になっている	It has been arranged that ~
	[>>>文法ノート6]
15 一晩 ^{ひとばん}	one night
～に泊 ^と まる	to stay (over night) [v.i.]
とても	very (much)
16 (～が)気 ^き に入る	to like ~; to be fond (of ~)
17 間 ^{あいだ} に	while; during the time when
りょうしん 両親	parents [lit., both parents]
ところ 所	place
18 名刺 ^{めいし}	(name) card; business card
でんわばんごう 電話番号	telephone number

読み物 >>>>>

0 青山 ^{あおやま}	[family name]	2 成田 ^{なりた}	Narita (International Airport)
ひろし 弘	[male given name]	まち 町	town; city
にっき 日記	diary	(～に)着 ^つ く	to arrive (at ~)

- 2 十数時間 じゅうすう じかん ten plus a few hours
- 3 かかる かかる it takes [with respect to time or money] [*v.i.*]
- 日付変更線 ひつけへんこうせん International Date Line
- 同じ おなじ same
- 5 空港 くうこう airport
- 6 迎える むか to welcome; to meet; to greet
- 見つかる みつかる ~ is found [*v.i.*]
- 7 泊める とどめる to have ~ stay (over night) [*v.t.*]
- ~ことになった it has been decided/arranged that ~
[>>>文法ノート6]
- 自分 じぶん oneself
- ファーストネーム first name
- (~を...で)呼ぶ よぶ to call ~ by ...
- 8 年上 としうえ older
- どうも どうも somehow; no matter how hard one may try
- ~にくい にくい hard to ~; difficult to ~
[>>>文法ノート8]
- 10 時差ボケ じさぼけ jet lag
- 眠る ねむ to sleep
- アパートさがし apartment hunting
- 11 連れていく つれていく to take someone to
- 近く ちか nearby; in the neighborhood
- 結局 けつぎよく finally; in the end
- 12 歩く ある to walk
- 適当(な) てきとう appropriate; suitable
- みつける みつける to find ~ [*v.t.*]

- 12 引っ越す ひっこす to move to a new place of residence
- ~ことにする ことにする to decide to ~
[>>>文法ノート9]
- 14 今晚 こんばん tonight
- 知人 ちじん acquaintance
- Vたら Vたら when V [>>>文法ノート10]
- 15 若い わか young
- 男性 だんせい man; male
- 16 ていねい(な) ていねい(な) polite
- ペラペラ ペラペラ fluently
- 自己紹介 じこしょうかい self-introduction
- 17 びっくりする びっくりする to be surprised
- 去年 きょねん last year
- 仕方 しかた way (of doing something)
- 18 そのうち そのうち before long; one of these days
- 19 それから それから and then; after that
- 中年 ちゅうねん middle-aged
- お互い たが each other
- 21 美しい うつく beautiful
- 娘 むすめ daughter
- とても~ない とても~ない can't possibly ~
[>>>文法ノート11]
- 22 文法 ぶんぽう grammar
- 考え方 かんが way of thinking
[>>>文法ノート12]
- ずいぶん ずいぶん quite a lot
- 違う ちが to differ; to be different
- ~らしい らしい it seems that ~; evidently [>>>文法ノート13]
- 23 カルチャーショック カルチャーショック culture shock

漢字リスト

書 1-18
読 1-15

書くのを覚える漢字

読み方を覚えましょう。また、書けるようになるまで練習しましょう。

- | | | | | |
|----------|----------|-----------|----------|---------|
| 1. 初めて | 2. 石山 | 3. 失礼 | 4. 申す | 5. お願い |
| 6. 教える | 7. 前 | 8. 留学 | 9. 今年 | 10. 三田 |
| 11. 多い | 12. 大学院生 | 13. ブラウン君 | 14. 電気工学 | 15. 専攻 |
| 16. 学部 | 17. 君も | 18. 上手 | 19. 今度 | 20. 時 |
| 21. 実は | 22. 中学 | 23. 文化 | 24. 女性 | 25. 帰る |
| 26. 取る | 27. 生まれる | 28. 私 | 29. 仕事 | 30. 泊まる |
| 31. 気に入る | 32. 間 | 33. 所 | 34. 家 | 35. 電話 |
| 36. 日記 | 37. 成田 | 38. 町 | 39. 着く | 40. 同じ |
| 41. 自分 | 42. 近い | 43. 歩く | 44. 月曜日 | 45. 男性 |
| 46. 去年 | 47. 仕方 | 48. 美しい | 49. 文法 | 50. 考え方 |

読めればいい漢字

読み方を覚えましょう。

- | | | | | |
|---------|----------|-----------|---------|---------|
| 1. 紹介 | 2. 宿題 | 3. 池田 | 4. 友達 | 5. 加藤 |
| 6. 僕 | 7. 趣味 | 8. 興味 | 9. 隣 | 10. 家族 |
| 11. 遊ぶ | 12. 知識豊富 | 13. 飛行機 | 14. 座る | 15. 卒業 |
| 16. 勤める | 17. ~週間 | 18. 休暇 | 19. 京都 | 20. 育つ |
| 21. 一晩 | 22. 両親 | 23. 名刺 | 24. 番号 | 25. 今日 |
| 26. 午後 | 27. 十数時間 | 28. 日付変更線 | 29. 空港 | 30. 迎える |
| 31. 呼ぶ | 32. 時差 | 33. 眠る | 34. 連れる | 35. 結局 |
| 36. 適当 | 37. 引っ越す | 38. 若い | 39. 自己 | 40. お互い |
| 41. 娘 | 42. 違う | | | |

漢字の部首

にんべん

亻

This radical comes from 人 and is used for characters representing human conditions, activities, etc.

「休」「作」「使」など

1 >>> V (plain past) ばかり = 'have just done something; have just finished doing something'

[会話1 > 1.1 >>> 大学に入ったばかり] [会話3 > 1.6 >>> 卒業したばかり]

- a) 大学に入ったばかりだから、十八歳^{さい}でしょう。
(Since she has just entered college, she is probably 18.)
- b) 食べたばかりだから、おなかがいっぱい^いです。
(I have just eaten, so I am full.)
- c) 日本へ行ったばかりのころは、日本語がわからなくて困^{こま}りました。
(When I was a newcomer to Japan, I had trouble understanding Japanese.)

2 >>> あの

[会話1 > 1.19 >>> あのクラスは]

Both あの and その can be used with the meaning 'that ~' when an item you are referring to is not in sight. あの is used when both the speaker and the hearer are (or are assumed to be) familiar with a person or thing in question. When only the speaker or the hearer is familiar with an item, その should be used. In this passage, the use of あの indicates that both 石山先生 and キャロル are familiar with the class.

- a) A: 私が生まれたのは高山^{たかやま}という町^{まち}です。
(The town I was born in is called Takayama.)
B: その町はどんな町ですか。
(What kind of town is that?)
- b) A: きょう、去年^{きょねん}日本語のクラスにいたライルさんに会いましたよ。
(Yesterday, I met Lyle-san, who was in our Japanese class last year.)
B: ああ、あの^あ人、どうしていますか。
(Oh, how is he [= that person] doing?)

3 >>> V (plain) ようになる

[会話2 > 1.17 >>> 興味を持つようになった]

This pattern indicates a change which has taken place or will take place. Just as い-adjective changes to -く (e.g., 安^{やす}くなる) and な-adjective to -に (e.g., しずか^{しずか}になる), when a verb occurs with なる, ように is inserted.

- a) 日本へ行ってから、日本に興味^{きょうみ}を持つようになりました。
(I came to have an interest in Japan after I went to Japan.)
- b) 漢字^{かんじ}を勉強しなければ、日本語の新聞^{しんぶん}が読めるようにはなりません。
(Unless you study kanji, you won't become able to read Japanese newspapers.)

- c) このごろアメリカ人もさしみやとうふを食べるようになりました。
(These days Americans also eat sashimi and tofu [and this is a change].)

4 >>> ~なあ

[会話2 > 2.23 >>> そうでもないけどなあ]

This is a sentence-final particle of exclamation. It is generally used to state one's feeling emphatically or one's wish emotively.

- a) 困^{こま}ったなあ。
(I don't know what to do!)
- b) 一度アフリカへ行ってみたいなあ。
(I wish I could go to Africa once!)

This expression has a flavor of "monologue" — *i.e.*, saying something without an addressee in mind. When it is said with an intention of getting a response from an addressee, ~なあ tends to be restricted to men.

- c) ひさしぶりだなあ。
(Long time no see!)
- d) お前^{まえ}よくやったなあ。
(You did WELL!)

5 >>> V(plain) ところ

[会話3 > 2.8 >>> 帰るところなんです]

[V(plain present) ところ] means 'about to do something.'

- a) ちょうどこれから食^い事^じをするところなんです、いっしょにどうですか。
(I am about to eat right now, so why don't you join me?)
- b) 今ちょうど出^でかけるところなので、あとで電^{でん}話^わをします。
(I am about to go out, so I will call you later.)

The meaning of ~ところだ varies, depending on the tense of the verb. When V is in the past tense, it means 'have/has just done something'; when V is in the progressive as in Vているところだ, it means 'am/are/is in the process of doing something.' Compare the following sentences:

- c) これから食^くべるところです。
(I am about to eat.)
- d) 今食^くべたところだから、おなかはすいていません。 ← exact moment
(I have just eaten, so I am not hungry.)
- e) 今食^くべているところだから、もう少し待^{まち}ってください。
(I am [in the midst of] eating right now, so please wait a little.)



食べるところです



食べたところです



食べているところです

6 >>> V (plain) ことになっている = 'be expected/supposed to; it is a rule/custom that ~'

[会話3 > 4.13 >>> 教えることになっています]

V (plain) ことになった = 'it has been decided/arranged that ~'

[読み物 > 4.7 >>> 泊めてもらうことになった]

ことになっている / ことになった indicates that a certain decision has been made for the speaker by outside forces. Use ことになっています when you want to talk about your future plan, which has been already arranged. Use ことになりました when you are reporting a certain decision or arrangement which has been made. In both cases, you are presenting a decision or a plan as something which was beyond your personal control. Moreover, ことになっている is also often used to describe a rule, regulation or social custom, as in examples e) and f).

- a) 日本で英語を^{おし}教えることになっています。
(I am to teach English in Japan.)
- b) あした先生に会うことになっています。
(I am supposed to meet my teacher tomorrow.)
- c) 日本の会社で^{しごと}仕事をすることになりました。
([It has been arranged that] I will be working at a Japanese company.)
- d) 来年^{けっこん}結婚することになりました。
([It has come about that] I will get married next year.)
- e) 日本の家に^あ上がる時は、くつをぬぐことになっています。
(When you enter a Japanese house, you are supposed to take off your shoes.)
- f) 教室では^{きょうしつ}日本語で話すことになっています。
(You are supposed to speak Japanese in the classroom.)

7 >>> N (or Sentence+の) は初めてです

[会話3 > 1.14 >>> 日本は初めてですか]

This expression requires that you are in a relevant situation. It is appropriate, therefore, to say a)-B in a Japanese restaurant.

- a) A: おすしを食べたことがありますか。
(Have you had sushi before?)
B: いいえ、おすしは初めてです。
(No, this is the first time.)

This cannot be said, however, when you are discussing Japanese food in a classroom. In that case, you should say b)-B.

- b) A: おすしを食べたことがありますか。
(Have you ever had sushi before?)
B: いいえ、ありません。
(No, I haven't.)

8 >>> V(stem)にくい

[読み物 > 1.8 >>> 「トム」とは呼びにくい]

[V(stem of ます-form)にくい] means that something is difficult to V.

- a) ステーキは、おはしでは食べにくい。
(Steaks are difficult to eat with chopsticks.)
b) 難しい漢字は、書きにくい。
(Difficult kanji are hard to write.)

cf. [V(stem)やすい] means that something is easy to V.

- c) きれいな字は、読みやすいです。
(Nice handwriting is easy to read.)

9 >>> V(plain) ことにする = 'decide to do ~'

[読み物 > 1.12 >>> 引越すことにした 1.18 >>> 会うことにして]

Compared with ことになる, this pattern indicates active decision making by the person involved.

- a) 来年日本へ行くことにしました。
(I have decided to go to Japan next year.)
b) 毎日CDを聞くことにしました。
(I have decided to listen to CD's every day.)

10 >>> S₁たら、S₂=‘When S₁, S₂’

[読み物 > 1.14 >>> 着いたら 1.20 >>> 話していたら]

When たら clause is followed by a sentence (=S₂) in the past tense, it means ‘when.’ The second sentence usually expresses an event or state you did not expect.

- a) きのう図書館へ行ったら、先生に会いました。
(Yesterday, when I went to the library, I saw my teacher.)
- b) 日本の家族へのおみやげを買ったら、「Made in Japan」と書いてあった。
(I bought a present for my Japanese family, and I found that it was made in Japan [, and I was surprised].)

This should be distinguished from the case of V たら followed by the present tense form, as in 日本へ行ったら、日本語が話せるようになるでしょう。This is the case of so-called “conditional” use of たら, and it means ‘if you go to Japan’ or ‘When you go to Japan.’

11 >>> とても～ない=‘can’t possibly’

[読み物 > 1.21 >>> とても言えない]

This phrase expresses a very strong sense of impossibility. The verb is usually in potential form.

- a) たくさんあって、とても食べ切れません。
(There is so much that I can’t possibly eat it all.)
- b) 東京ではとても家なんか買えません。
(I can’t possibly buy a house in Tokyo.)

12 >>> V(stem)方=‘way of ~ing’

[読み物 > 1.22 >>> 考え方]

[V(stem of ます-form)+方] expresses ‘the way of doing something.’

- a) 漢字は、一つのものにも読み方がたくさんあるので、難しい。
(Kanji are difficult because [even] one kanji [often] has a number of readings.)
- b) おはしの持ち方を教えてください。
(Please teach me how to hold chopsticks.)

13 >>> ～らしい=‘it seems that; evidently’

[読み物 > 1.22 >>> 違らしい]

～らしい expresses one’s conjectures. It can be attached to nouns (e.g., 日本人らしい), stems of な-adjectives (e.g., しずからしい), plain forms of い-adjectives (e.g., 安いらしい) and plain forms of verbs (e.g., 行くらしい). It tends to be used when one’s conjecture is based on what one has heard.

- a) 日本人は、^{あつ}熱いお風呂が好きらしい。
(It seems that the Japanese people like hot baths.)
- b) 東京は、^{ぶつ}物価が高くて、住みにくらしい。
(It seems that Tokyo is a difficult place to live in because everything is expensive.)
- c) アメリカでは、^よ学生が先生をファーストネームで呼ぶらしい。
(Evidently, students call teachers by their first names in America.)

14 >>> V^{はじ}て初めてのN='the first N after V-ing'

[読み物 > 4.22 >>> 着いて初めてのカルチャーショック]

- a) アメリカに^つ着いて^{はじ}初めてのカルチャーショックだった。
(It was my first culture shock after arriving in America.)
- b) 学校が^{はじ}始まって初めてのピクニックで、先生やほかの学生におおぜい会った。
(I met many teachers and students at the first picnic of the semester.)

When a verb occurs instead of a noun, this expression takes the form of V₁て初めて V₂, meaning 'When V₁ happens, then for the first time V₂ happens.'

- c) 日本へ行って初めて、一日中^{じゅう}日本語だけで話しました。
(When I went to Japan, I spent a whole day speaking only in Japanese, for the first time in my life.)
- d) 大学に入って初めて、日本人に会いました。
(When I entered college, I met a Japanese for the first time. [i.e., I had never met a Japanese until I entered college.])

会話練習のポイント

a) >>> 紹介

>>>>> [会話1]

キャロル: あのう、石山先生でいらっしゃいますか¹。
石山: ええ、石山ですが²。(はい、そうですが。)
キャロル: キャロル・ベーカーと申します。
石山: ベーカーさんですか。どうぞよろしく。
キャロル: よろしくお願ひします。

1: でいらっしゃいますか is an honorific form of です. This is different from いらっしゃいますか, which is an honorific form of いますか.

2: Native Japanese speakers often end a sentence with ～が (but ...). This suggests that something more might follow and hence gives a softer tone to the conversation, thus making it more polite than a sentence without が.

b) >>> 初めて会う人と話す

>>>>> [会話2]

田中: ところで³、トムが日本語に興味を持ったのは、いつですか。
トム: 実は⁴、中学の時日本のアニメが好きで、よく見ていたんです。
田中: ああ、それで⁵日本語を勉強したいと思うようになったんですね。
トム: ええ、そうなんです。高校で勉強して、一年高校留学もしました。
田中: ああ、だから⁵トムは日本語が上手なんですね。

3: ところで is used to change the topic of a conversation.

4: 実は is used to bring up an important point or information.

5: Try to use connectives such as それで and だから to get more information from a conversation partner and in general to have a smooth conversation.

運用練習

1 >>> 自己紹介

● クラスの人に自己紹介しなさい。自己紹介には、次のことを忘れないこと。

- a) 名前
- b) 学年

- c) 日本へ行ったことがあるか、ないか (あるなら、いつ、どうして)
- d) 専攻^{せんこう}
- e) 趣味^{しゅみ}
- f) 終わりの言葉^{ことば}

[例] ハリスと申します。学部^{がくぶ}の二年生です。日本へはまだ行ったことがありませんが、来年^{らいねん}留学^{りゅうがく}したいと思っています。専攻^{せんこう}は日本語です。趣味^{しゅみ}はテニスと音楽^{おんがく}です。どうぞよろしく願^{ねが}いします。

2 >>> ペアワーク

- a) ペアになって、お互^{たが}いにどうして日本に興味^{きょうみ}を持つようになったかを聞きなさい。
- b) 聞いたことをクラスの人たちに報告^{ほうこく} (to report) しなさい。

3 >>> ロールプレイ

- ペアになりなさい。一人は日本語の学生、もう一人は日本語の先生で、大学のパーティーで初^{はじ}めて会いました。この課の会話1のような会話をしなさい。学生になった人は、自己紹介^{じこしょうかい}をしながら、先生のことものいろいろ聞きなさい。

4 >>> ペアワーク

- a) ペアになって、生^うまれた所^{ところ}、育^{そだ}った所について聞きなさい。
- b) 聞いたことをクラスの人たちに報告しなさい。

5 >>> ペアワーク

- ここにあるのは、名刺^{めいし}のサンプルです。この名刺をくれた人は、どんな人でしょうか。ペアになって、次^{つぎ}の質問^{しつもん}に答^{こた}えなさい。

三田町商事株式会社
営業部部长

林 太郎

〒108-0023 東京都港区芝浦4丁目5番4号
TEL: (03)4567-8910 FAX: (03)4567-7777
E-mail: hayashi@mitamachi.co.jp

- a) この人の名前は何ですか。
- b) この人の仕事^{しごと}はどんな仕事でしょうか。
- c) この人の会社はどこにありますか。
- d) この人の電話^{でんわ}番号^{ばんごう}は何番ですか。

商事 (しょうじ) 株式会社 (かぶしきがいしゃ)
営業部 (えいぎょうぶ) 部長 (ぶちょう)

海岸大学
文学部英文科

教授 田中 花子

勤務先 〒251-0000 神奈川県藤沢市海岸 1-2
Tel: (0466)77-8899 Fax: (0466)77-7777
自宅 〒226-0000 神奈川県横浜市緑区青葉 3-2-1
Tel/Fax: (045)045-0450

- e) 田中さんはどんな仕事をしていますか。
f) 田中さんの勤めている所は、どこにありますか。
g) 田中さんの家はどこにありますか。
h) 田中さんの家の電話番号は何番ですか。

文学部 (ぶんがくぶ) 教授 (きょうじゅ)
勤務先 (きんむさき) 自宅 (じたく)

6 >>> 作文

- 自分を紹介する作文を書きなさい。長さは百字ぐらい。

聞き取り練習



- アメリカ人学生が自己紹介しています。CDを聞いて、次の文が正しければ○、間違っていれば×を入れなさい。

- a) この人は大学院生です。
 b) 日本語を専攻しています。
 c) 日本へ行ったことがあります。
 d) 高校のとき、日本に留学しました。
 e) 大学に入ってから、日本に興味を持つようになりました。
 f) 卒業したら日本へ行くでしょう。
 g) 黒沢 (name of a Japanese film director) の映画はたくさん見ました。
 h) 日本語を勉強したことはありません。
 i) 日本語はやさしくないと思っています。
 j) 日本語は覚えられると思っています。

「ノー・サンキュー」

これは、日本から来たばかりの留学生山下君が、初めてアメリカ人の家へ行った時の話です。ケラーというそのアメリカ人は、山下君のお父さんの友達で、山下君はお父さんから頼まれた手紙と小さなプレゼントを届けに行ったのです。その日は、八月の末で、ずいぶん暑い日でした。大学から十分ぐらい歩いて、ケラーさんのアパートに着きました。ケラーさんに「どうぞお入りなさい」と言われて、山下君は部屋に入りました。自己紹介が終わって、手紙とプレゼントを渡すと、ケラーさんは「コカコーラなんかどうですか」と聞きました。山下君はのどがかわいていて、何か冷たいものを飲みたかったけれど、「はい、飲みたいです」と答えるのは失礼だろうと思ったので、“No, thank you.”と答えました。もちろん、ケラーさんがもう一度聞いてくれるだろうと思ったからです。ところが、ケラーさんは「オーケー」と言っただけで、すぐ山下君のお父さんのことをいろいろと聞きはじめました。家族のことや、自分の勉強のことを一時間ぐらい話してから、山下君はケラーさんのアパートを出ました。のどは、まだかわいたままでした。山下君はその日、アメリカでは「ノー」は「ノー」なのだ、ということを知ったのです。

● 次の文を読んで、正しいければ○、間違っていれば×を入れなさい。

- a) ケラーという人は、山下君の友達です。
- b) 山下君のお父さんがケラーさんに書いた手紙は、山下君が日本から持ってきたのでしょ。う。
- c) 山下君がアメリカに着いたのは、夏でした。
- d) 山下君は、ケラーさんの家まで、車で行きました。
- e) ケラーさんは、「コカコーラかなんかどうですか」と二度聞きました。
- f) ケラーさんは、コカコーラを出してくれました。

失敗は成功のもと
(lit., Failure is the basis for success.)

1

ことわざ